



おうぎだい

◇令和6年度 二十歳のつどい

令和7年1月12日(日)



昨年の元旦に能登半島を襲った大地震の記憶も覚めやらぬ中、犠牲者への追悼と、平穏に開催できることへの感謝を胸に、今年も「二十歳のつどい」を滞りなく開くことができました。

奥楓梨さんによる市民憲章唱和に引き続き、代表の青倉結菜さんに記念品を受け取っていただきました。

小竹康生さんによる誓いの言葉では、学業と野球を両立させて頑張っている今の自分と、それを支えてくれている両親はじめ関係者への感謝の想いが語られ、聞く人全ての胸を打つ時間が続いていきました。

その後、横道淳一さんによる交通安全宣言及び明るい選挙の決議が、大人への自覚と共に朗読され、厳粛な中、無事第一部が終了しました。

一転、和気あいあいとした雰囲気でも始まった第二部では、恩師二名からの懐かしかった当時の話題の数々に、会場は暖かな笑いに包まれました。

その後、思い出がいっぱい詰まったタイムカプセルが開封され、中身が披露されると、様々なサプライズに、各々目を輝かせている姿が、とても印象的でした。

クラス毎の記念撮影を最後に全ての行事が終わりましたが、参加者はみんな、穏やかな冬の日差しのもと、友人たちとの久々の再会に胸を躍らせ、名残惜しそうに会場に留まっている姿が、暖かな今年の式を象徴しているように感じました。

今年は昭和100年、戦後80年の節目です。平凡で当たり前の日常が積み重なっていく、そんな一年になることを、皆様共々心から祈りたいと思います。

扇台公民館館長 藤井 宏